

令和4年度 総合評価

個別事業数 (198) ※No.4.5.6.8.25.26.28は非該当
 評価基準値 (990) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度 総合評価	B	評価根拠	$867.6 \div 990 \times 100 = 87.7 \%$ 4年度合計評価値 ÷ 評価基準値 × 100 90%以上…評価A 90%未満60%以上…評価B 60%未満…評価C
---------------	----------	------	---

人権全般に関わる施策

個別事業数 (21) ※No.4.5.6.8.25.26.28は非該当
 評価基準値 (105) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A	評価根拠	$94.9 \div 105 \times 100 = 90.3 \%$
---------	----------	------	--------------------------------------

・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価
 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他

No	共通課題	推進施策	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
2	権利の理解のための教育と啓発	権利の理解のための学習機会の提供	東岸和田市民センター	どんな学習テーマであっても、基本は人権学習であることを意識して、学習プログラムを企画する。	[高齢者大学]2大学/4大学 学習会14回 ※残り2大学は、運営委員会にて、コロナ感染対策として今年度全休講。 [家庭教育学級]2学級 学習会19回 [女性学級]1学級 学習会11回 【評価】振り返り学習時や運営委員会での話し合いの中で、一見人権とは関係がない学習テーマであっても、人間としていかに生きるかについて意識を深められた。	3	①
			山直市民センター	担当課の依頼により、定期講座や短期講座の際に、本プランの趣旨について、情報提供する機会を設ける。また、市民ニーズを把握したうえで、適宜、研修会等の実施に努める。	[テーマ]介護に困らないための知識とノウハウ 【評価】車椅子の使用を実際に体験することで、高齢者や障害者の人権の理解を促し、行動につなげる一助となった。 【課題】参加人数が少ない。	3	④
			春木市民センター	市民や地域で活動を行う団体に対して、人権意識の向上を目的とした講座を企画する。	今年度は実施できていない。	1	①
			桜台市民センター	ちらしやリーフレット等を配架し、公民館利用者に対して人権問題に関する情報提供を行う。	所管課から依頼のあったチラシやリーフレット等を配架し、公民館利用者への積極的な情報発信に努めた。また、女性・子ども・高齢者の人権尊重につながる公民館主催講座の開催に取り組んだ。 [講師]小関健太郎氏 [参加者]6人 【評価】市民が権利の理解を学習する機会となった。	4	②

No	共通課題	推進施策	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
3	人権課題への理解を促し、行動につなげるための教育と啓発	人権課題に関する学習機会の提供	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①各人権課題をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発 ③岸和田市人権施策推進プランの周知及び理解促進	◎実績 ①(1)人権を考える市民の集い 【日程】12月3日(土)【テーマ】インターネットを悪用した人権侵害【講師】木村響子氏(特定非営利活動法人RememberHANA) (2)人権問題専門講座「非行少年から更生支援者へ」 【日程】12月2日(木)【テーマ】刑を終えて出所した人の人権【講師】野田詠氏 氏(牧師) (3)校区別人権問題研修「なるほど！人権セミナー」 【期間・会場】10～11月市内小学校区14か所【テーマ】高齢者の人権【講師】人権・男女共同参画課職員 (4)映画上映会「はあとふるシアター」 【実施回数】7回13作品【テーマ】♪ラ主要課題1.2.3.4.5.6.8.11.12 ②各人権課題について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報さしわだ、人権啓発紙「人の輪」、チラシ・ポスター ③下記の手段でプランの周知・理解促進を図った。 (1)市内公共施設への設置(8か所)(2)広報さしわだ及び人権啓発紙「人の輪」による全戸配布(4月・12月)(3)人権関係団体及び研修会等参加者への配布、趣旨説明 ◎評価 ①②市民が人権課題について認識を深めるきっかけとなった。 ③多くの市民にプランを周知することができた。また、人権関係団体や研修会参加者へ、行政との協働と連携について協力を依頼することができた。 ◎課題 講演会等への若年層の参加が少ない。	4	②
			桜台市民センター	ちらしやリーフレット等を配架し、公民館利用者に対して人権問題に関する情報提供を行う。	所管課から依頼のあったチラシやリーフレット等を配架し、公民館利用者への積極的な情報発信に努めた。また、女性・子ども・高齢者の人権尊重につながる公民館主催講座の開催に取り組んだ。 【評価】 市民が人権課題への理解を深める機会となった。	4	②
7		人権課題に沿った図書などの情報の設置	図書館	①資料の収集・提供 ②「人権週間」に合わせた関係資料の展示 ③人権・男女共同参画課の依頼により、人権課題別に週間や月間に応じ、関係資料を展示	人権週間に合わせ資料の展示を行った 【評価】 利用者に人権問題についてアピールできた 【課題】 貸出される利用者が少なかったため、展示する図書に工夫が必要	4	①
10	人権課題に関する実態の把握と対応	各種調査における実態把握	企画課	都市政策研究事業で実施している市民意識調査において、人権問題に関する市民の感じ方についての設問を設定し、状況を明らかにする。	・市民意識調査において、人権問題に関する市民の感じ方についての設問を設定した。(設定項目:「人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係ない」) ・回答者数は「そう思う」「まあそう思う」を合わせた『思う』が61件(全体:1,451件)で全体の4.2%、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた『思わない』が1042件(全体:1,451件)で全体の71.8%であった。 【評価】 ・人権問題に関する市民の感じ方を把握することができた。	5	①
12	安心・安全のための連携と協働	様々な人に配慮した防災・災害対応	危機管理課	視覚障害者や聴覚障害者が緊急防災メールやエリアメール以外の手段で防災情報を取得できるサービスを運用開始する。	防災情報自動配信サービスの運用を開始した。	5	①
			消防本部	様々な人に配慮した防災・災害対応を円滑に進められるよう、町会等での訓練の際に、市民団体と連携して講座等を開催し、1人でも多くの市民の方々に防災・災害時の対応を理解していただいたとともに、救護所等において何が必要かを検証し、災害活動マニュアルの改訂など検討を行っている。	講習、訓練等 165件 【評価】 防災等の対応に対する理解を普及した	5	①
			公共建築マネジメント課	公共施設総合管理計画の推進や公共施設の設計施工業務を行うにあたり、様々な人に配慮した防災災害対応を考慮して業務を進めていく。	工事発注にあたり、バリアフリーに配慮した設計施工を行った。 【評価】 様々なバリアの解消とユニバーサルデザインの推進の一助となった。	5	①

No	共通課題	推進施策	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
13	様々な人に配慮した防災・災害対応	様々な人に配慮した避難所の整備と運営	桜台市民センター	避難所配備職員との連携を密にし、多様なニーズのある人への配慮の視点をもって、避難所運営や施設ごとの要配慮事項等について共通認識を図る。避難所開設時においても、様々な人の視点に立ち、それぞれの特性やニーズに配慮した避難所運営に取り組む。 【主な取組】避難所配備職員と打合せを行い、報告書として取りまとめ、避難所運営時のマニュアル及び後任への引継ぎ書として活用する。また、運営上の課題について危機管理課と共有する。	令和4年6月29日避難所配備職員と打合せを行い、後任への引継ぎ書も兼ねて報告書として取りまとめた。また、危機管理課とは情報共有に努めた。 【評価】様々なニーズのある人への配慮の視点をもった避難所運営について想定することができた。	5	①
15		避難行動要支援者支援制度の普及	危機管理課	個別避難計画の作成に向けて関係課や関係機関との調整を進める。	個別避難計画の作成に向けて関係課や関係機関との調整を進めている。	4	②
			介護保険課	11月の広報きしわだで「岸和田市避難行動要支援者支援制度」登録の案内するとともに、新たな対象者に同意書を郵送し、名簿を更新する。	新たな対象者約700名に同意書を送付して名簿を更新した。 【評価】安心・安全に暮らせるよう名簿を活用して各団体に避難訓練・見守りに活用していただく。	5	①
18	様々な人に配慮した情報発信		企画課	次期総合計画基本構想及び基本計画書において、Uni-Voiceによる対応を行う。	次期総合計画にあたる「将来ビジョン・岸和田」の基本構想及び基本計画において、Uni-Voiceの導入を行った。 【評価】計画とおりに実施できた。	5	④
			水とみどり課	公園内における注意案内に係る掲示物について、イラストを併記することにより様々な人にわかりやすく情報発信を行う。	掲示物については、イラストを作成し、多くの市民にわかりやすいデザインを心掛けた。 【評価】様々な人にとってわかりやすい情報発信を行うことができた。	5	①
19	様々なバリアの解消とユニバーサルデザインの推進	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した新庁舎設計	庁舎建設準備課	バリアフリー・キッズスペース・多目的トイレ・授乳室等、様々な人に必要な設備の整備や、関連性を考慮した利用しやすい課の配置とするなど、バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した新庁舎の設計を行う。令和4年度は、令和元年度計画策定時からの諸条件の変化等を踏まえ、新庁舎整備基本計画の改定を行う。	今年度は基本計画の改定を行った。改定後の基本計画においても、新庁舎に求める機能として、庁内全体でユニバーサルデザインに十分配慮した計画の考えを踏襲している。	5	①
20		各課窓口や相談室設置など、プライバシーに配慮した新庁舎設計	庁舎建設準備課	窓口に仕切り板を設けるとともに個別相談室を充実させるなどプライバシーに配慮した新庁舎の設計を行う。令和4年度は、令和元年度計画策定時からの諸条件の変化等を踏まえ、新庁舎整備基本計画の改定を行う。	今年度は基本計画の改定を行った。改定後の基本計画においても、新庁舎に求める機能として、プライバシーに十分配慮した計画の考えを踏襲している。	5	①
21		バリアフリー及びユニバーサルデザインに関する事業者への指導や助言	都市計画課	岸和田市環境デザイン委員会事業において、協議内容など必要に応じて事業者への指導助言を行う。	デザイン委員会における協議件数 総件数:5件(うち、バリアフリー及びユニバーサルデザインに係る指導・助言を行ったもの2件、他3件は当該指導・助言以外のもの) 【評価】様々なバリアの解消とユニバーサルデザインの推進の一助となった。	5	①
			建設指導課	公共施設及び民間建築物等のバリアフリー化を進めるため、大阪府福祉のまちづくり条例に係る事務を行う。	事前協議件数:7件 【評価】事務を行うことによって、民間建築物のバリアフリー化を進めることができた。	4	①
22	情報のバリアフリーの推進		広報広聴課	「広報きしわだ」や「暮らしの便利帳」では原則ユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性、表示適性、視認性、識別性に配慮した誰もが「見やすく」「読みやすい」ものであるよう心掛ける。	広報きしわだや暮らしの便利帳、市制施行100周年記念誌を、識別性に配慮し、UDフォントを使用して作成した	5	①
			IT推進課	電子申請サービス(LoGoフォーム)導入を進め、来庁なしで電子申請できる公的手続きを増やす。	令和4年度に電子申請サービス(LoGoフォーム)を本格導入し、庁内向けに研修会を実施した。各課において電子申請できる手続きの登録を行っている。 【評価】各課からの相談に応じ、電子申請の手続き登録を推進できている。	5	①
24	交通環境におけるバリアフリーの推進	市街地整備課	岸和田市交通まちづくりアクションプラン【バリアフリー基本構想編】に定めている特定事業について事業者の進捗確認を行う。	個別計画により進捗確認を行った。	5	①	

令和4年度 実績報告書【ピックアップ版】（主要課題別評価）【12月 見込み報告】

主要課題1 女性の人権

個別事業数（ 11 ）
 評価基準値（ 55 ）※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		B		評価根拠		45.5 ÷ 55 × 100 = 82.7 %		達成度 … 担当ごとに5段階で評価 事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価		達成度 (評価値)	事業の 方向性
34	性別役割分担意識の払しょく	各課の広報物などにおける表現の見直し	関係課との連携による表現の点検(★)	秘書課	式典等内容・広報物(ホームページ)に性別による固定的な役割分担意識を助長する表現が含まれていないか定期的に確認をする。	市制施行100周年記念式典:記念映像等、案内文・プログラム等、ホームページ等制作 有功者表彰式:案内文等制作 【評価】 性別による固定的な役割分担意識を助長する表現は含まれていなかった。		5	①
				八木市民センター	チラシ等の作成時には、性差による無意識の刷り込み等がないか点検する。	イラスト等使用の際は、性別役割分担を意識させることがないよう、複数人での確認をおこなう。		5	①
				議会事務局総務課	議会だよりやホームページ作成等の際、文章やイラスト等が性別による役割分担意識を助長する表現になっていないか、配慮して作成する。表現に関して疑問点がある場合は、人権・男女共同参画課と意見交換をする。 【作成予定の広報物】議会だより(5月・8月・11月・2月)	【議会だより】5月号、8月号、11月号、1月号 [ホームページ]随時 【評価】 文章やイラスト等が性別による役割分担意識を助長する表現になっていないか、配慮して作成できた。		5	①
				選挙管理委員会事務局	ホームページやリーフレット等において、性別による役割分担を助長するような表現とならないよう配慮する。また、選挙時の案内や学校等での模擬投票についても、同様に心掛ける。表現に関して疑問点がある場合は、人権・男女共同参画課と意見交換する。 【作成予定の広報物】選挙きしわだ	・令和4年7月10日執行参議院議員通常選挙において選挙きしわだを発行(全戸配布) ・令和5年4月9日執行予定の大阪府知事・府議会議員選挙において選挙きしわだを発行予定(全戸配布) 【評価】 性別による役割分担を助長するような表現とならないよう配慮しており、模擬投票においても同様に対応している。		5	①
37	困難を抱える人が利用できるサービスの提供	自立を支援する取組の推進	様々な就労支援の取組(★)	産業政策課	①再就職支援講座(介護職員初任者研修、フォークリフト運転技能講習)の実施 ②ハローワーク岸和田等と連携し就職面接会を実施	①介護職員初任者研修 R4.9.16~10.28参加者6名 R5.1.16~2.28(予定) フォークリフト運転技能講習 R4.11参加者3名 ②就職フェア R4.7.15参加者38名 【評価】 希望者に就職に繋がる機会を提供することができた。 【課題】 参加者が少なめであった。		4	①

主要課題2 子どもの人権

個別事業数 (28)
 評価基準値 (140) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		A		評価根拠	135.9 ÷ 140 × 100 = 97.0 %	達成度 … 担当ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
41	子どもが権利の主体であることの理解促進	子どもの人権に配慮した教育の推進	子どもの人権尊重に関する啓発事業(★)	生涯学習課	たんぼぼ家庭教育学級公開講座「親子で聞こう、性のおはなし」 【概要】親子で「性・生教育」を学び、からだところの両面から「自分を大切に」方法を知ること子ども自身をいじめや犯罪から守る。 【開催日】7月29日(金)10:00~12:00 【対象】乳幼児の保護者	【テーマ】子どもに関する人権問題 【講師】浅田昌代氏 【参加者】大人4人子ども7人 【評価】避けがちな性についての子どもとの関わり方を学ぶことができた。 【課題】学級生以外の方への周知。	5	①
43			なかまづくり・集団づくりの取組の推進(★)	人権教育課	人権教育研修「人権感覚を育む集団づくりについて」	①「人権感覚を育む集団づくり」【講師】大阪教育大学准教授 佐久間敦史氏【参加者】46人 ②「あなたに伝えたいこと」【講師】堺市立人権ふれあいC 杉本美範氏【参加者】62人 ③「性の多様性の理解を深めるために」【講師】Q-Losik 森田氏【参加者】37人 【評価】教職員を対象とした人権教育研修を3回実施し、教育現場における幼児・児童・生徒の人権意識の高揚と実践力の向上につなげることができた。	5	①
44			自尊感情を育む教育の実施(★)	産業高等学校	【受講予定】人権教育研修「人権教育の推進について」	①「人権感覚を育む集団づくり」【講師】大阪教育大学准教授 佐久間敦史氏 ②「あなたに伝えたいこと」【講師】堺市立人権ふれあいC 杉本美範氏 ③「性の多様性の理解を深めるために」【講師】Q-Losik 森田氏 【評価】人権教育研修に参加し、教育現場における生徒の人権意識の高揚と教職員の実践力向上につなげることができた。	5	①
53	子どもへの暴力の根絶	連携による支援	岸和田市子育て支援地域協議会(要保護児童対策地域協議会)における関係機関の連携と協力(★)	子ども家庭課	「障害児療育部会」「児童虐待防止ネットワーク部会」及び「子育て支援部会」にて、関係機関と連携した子どもと家庭への支援を実施する。特に「児童虐待防止ネットワーク部会」において、児童虐待の重症化予防に向けた取り組みを行う。 【児童虐待防止ネットワーク部会・開催会議】 ・要保護児童のモニタリング会議(年4回) ・在宅児・特定妊婦会議(毎月) ・要保護児童新規受理会議(毎月) ・ケース検討会議(随時)	予定通り会議が開催された。 【課題】会議での発表対象数が増大し、会議が長時間化しており、十分な協議が難しくなっている。	5	②
55	いじめ問題への対応	いじめの未然防止のための啓発	いじめ防止のための教育や啓発の実施(★)	学校教育課	SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置と教育相談体制の充実	SCについては、各小中学校へ学校規模に応じて、年間10回~35回、SSWについては、拠点校方式で各小中学校へ派遣している。 【評価】児童生徒が抱える不安の解消や課題解決につなげるための相談体制を確保することができた。	5	①
56		いじめの早期発見と適切な対応	岸和田市いじめ防止基本方針に基づく対応(★)	学校教育課	いじめ不登校対応研修、いじめ問題対策連絡協議会の実施	(1)いじめ不登校対応研修を年2回(6月、11月)実施した。【対象・参加者】教職員・計約120名 【評価】教職員がいじめ問題について認識を深める機会となった。	5	①

No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
57	相談・支援体制の充実	子育て支援の充実	子育てにおける相談支援体制の充実(★)	健康推進課	専門職(保健師・理学療法士・保育士・栄養士・歯科衛生士・助産師・発達相談員)による健康相談等を電話(随時)や面接(予約制)にて実施する。	[相談件数]10,000件 【評価】 相談者のニーズに対し対応することができた。	5	①
				子ども家庭課	子どもたちの健やかな成長のため、子育てに関することや児童虐待に関すること等の子どもや家庭の問題について相談に応じる。相談対応の中で児童虐待の発生予防を心がけ、早期発見、早期対応、並びに重症化や再発の防止を図る。 【主な取組】 ・子ども家庭課ホームページ等にて相談窓口の周知を行う。 ・相談対応時、必要に応じて子育て世代包括支援センター等の関係機関と連携して子どもや家庭へ支援を行う。	相談窓口として適宜相談対応を実施し、必要に応じて関係機関と連携し、虐待予防や家庭支援を行った。 【評価】 様々な相談を対応する中で、適切な助言と支援が必要である。	5	①
子育てにおける不安の解消(★)		子育て施設課	第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画に基づく施策の推進(地域子育て支援拠点事業)を図る。	地域子育て支援センター(2カ所)で園庭開放等を実施した。 【評価】 就学前児童・保護者の交流の場として、大きな役割を果たしている。	5	①		
就学や進学、学習の支援(★)		教育総務課	教育を受ける機会を保障するため、経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、援助を行う。 【主な事業】①小学校就学奨励事業 ②中学校就学奨励事業	小学校就学奨励費 177,837千円 中学校就学奨励費 155,254千円 ◎評価 滞りなく事務を執行	5	①		
61		教育相談体制の充実	学校園における相談支援の充実(★)	学校教育課	SC(スクールカウンセラー)・SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置、各種相談体制の充実(学校教育課)	SCについては、各小中学校へ学校規模に応じて、年間10回～35回、SSWについては、拠点校方式で各小中学校へ派遣している。 【評価】 児童生徒が抱える不安の解消や課題解決につなげるための相談体制を確保することができた。	5	①
64	子どもに関わる施策の推進	子どもに関わる事業実施計画の推進	岸和田市子ども・子育て支援事業計画の推進	子育て支援課	子ども・子育て支援法第2条を踏まえ、同法第61条の規定に基づき、岸和田市子ども・子育て支援事業計画において市民の教育・保育や子育て支援の多様なニーズの調査を行う。 その結果を、岸和田市子ども・子育て会議へ提示・審議したうえで計画を推進する。 【会議】岸和田市子ども・子育て会議の開催 【令和4年度重点項目】第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し	岸和田市子ども・子育て会議を3回開催 【評価】 重点項目であった第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行った。	5	①

主要課題3 高齢者の人権

個別事業数 (23)
 評価基準値 (115) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		A		評価根拠		106.6 ÷ 115 × 100 = 92.6 %		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性	
72	高齢者が権利の主体であることの理解促進、自己決定権の尊重	権利擁護制度の普及	権利擁護センターの機能充実(★)	福祉政策課	行政と権利擁護センターが連絡を取り合い、高齢者の契約締結能力に疑義ある高齢者への支援について早期介入に努める。	権利擁護センターとの権利擁護支援会議を計12回(見込み)開催。 【評価】センターとの連携を密にすることで、要支援者の実態把握及び問題解決に向けた対応を早期に行うことができた。	5	①	
76	高齢者への差別の解消	高齢者、認知症患者への理解促進と介護者支援	啓発事業などの実施(★)	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】(1)「高齢者及び認知症患者の人権」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 (2)様々な広報媒体を用いた啓発	(1)①校区別人権問題研修「なるほど！人権セミナー」 【期間・会場】10～11月市内小学校区14か所【テーマ】高齢者の人権【講師】人権・男女共同参画課職員 ②映画上映会「はあとふるシアター」 【日程】9月10日(土)【上映作品】「認知症と向き合う」「わっかカフェへようこそ」 (2)「高齢者及び認知症患者の人権」について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報きしわだ、チラシ・ポスター 【評価】市民が人権問題について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】若年層の参加が少ない。	4	②	
77			「認知症の人を支える家族のつどい」を実施	福祉政策課	「認知症の人を支える家族のつどい」を実施。	「認知症の人を支える家族のつどい」を開催。 【評価】ご家族の方や当事者の方、介護職の方などが、日ごろの思いや悩みなどを気軽に話せる機会となった。	5	①	
82	高齢者虐待の防止と被害者の安全確保、擁護者支援	連携による支援	高齢者虐待ネットワークの連携による支援	福祉政策課	高齢者虐待対応実務者の会議を1回/月開催し、関係機関との対応の連携を行う。	計12回(見込み)虐待対応実務者会議を開催した。 【対象】関係機関の虐待対応実務者 【評価】虐待対応実務者が虐待対応について認識を深める機会となった。関係機関との対応の連携し、相談者の問題解決につなげることができた。	5	①	

No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
84	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	社会参加の機会づくり	シルバー人材センターの活用	総務管財課	高齢者の社会参加の充実を図るため、シルバー人材センターを活用する。 【委託内容】 ①総務管財課が所管する公用車管理室内での公用車に関する管理業務 【実施日】令和4年4月1日から令和5年3月31日まで ②総務管財課管理地3か所の除草作業 【実施日】令和4年11月から12月	①令和4年4月1日から令和5年3月31日までの契約期間で100%達成見込み。当該業務は滞りなく実施しており、来年度も同様の管理業務を委託する予定。 ②令和4年11月に、総務管財課管理地3か所の除草作業を実施し100%達成。来年度も同様の除草作業を委託する予定。	5	①
				農林水産課	高齢者の社会参加の充実を図るため、シルバー人材センターを活用する。 【委託内容】久米田池の景観維持管理 ①日常管理(人の手による除草、巡回、清掃、報告等) ②随時管理(大作業、草刈り、公衆便所の清掃等)	日常管理 従事者15人 ②随時契約 従事者12人 【評価】 高齢者の雇用促進の安定等を配慮でき、社会参加の充実も図れた。	5	①
				高架道路・道路整備課	高齢者の社会参加の充実を図るため、シルバー人材センターを活用する。	当初の予定通り業務を実施した 【評価】 高齢者の雇用・就業機会の確保に貢献できた	5	①
				浄水課	高齢者の就業を促進し、社会参加の充実を図るため、シルバー人材センターを活用する。 【委託内容】流木浄水場除草及び樹木管理業務 【委託期間】令和4年4月1日～令和5年1月31日	シルバー人材センターと、流木浄水場除草及び樹木管理業務委託の契約、委託業務の完了。 【評価】 高齢者の雇用・就業機会の確保に貢献できた	5	①
				スポーツ振興課	高齢者の社会参加の充実を図るため、シルバー人材センターを活用する。 【委託内容】夏季の市営プール開設に係る市民プール軽作業等業務を委託。 【委託期間】主に夏季の市営プール開設時期。	シルバー人材センターを活用し、市民プール軽作業等を委託した。 【評価】 高齢者の雇用・就業機会の確保に貢献できた	5	①
87		就業支援の推進	就労に向けた支援の実施	産業政策課	①再就職支援講座(介護職員初任者研修、フォークリフト運転技能講習)の実施 ②ハローワーク岸和田等と連携し就職面接会を実施	①介護職員初任者研修 R4.9.16～10.28参加者6名 R5.1.16～2.28(予定) フォークリフト運転技能講習 R4.11参加者3名 ②就職フェア R4.7.15参加者39名 【評価】 希望者に就職に繋がる機会を提供することができた。 【課題】 参加者が少なめであった。	4	①
88	高齢者に関わる施策の推進	高齢者に関わる事業実施計画の推進	岸和田市地域福祉計画・地域福祉活動推進計画の推進	廃棄物対策課	①粗大ごみの運び出しが困難な高齢者の世帯を対象に、職員が粗大ごみを屋内から運び出して収集する「ふれあい収集」を行う。 ②紙おむつ給付または助成を受ける介護保険利用者の方に、普通ごみ指定袋の給付(減免措置)を行う。	①250件 ②470件 【評価】 申請件数も増加している。 【課題】 継続し実施する	5	①

主要課題4 障害者の人権

個別事業数 (30)
 評価基準値 (150) ※ 個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	B	評価根拠	$124.4 \div 150 \times 100 = 82.9 \%$
---------	----------	------	---------------------------------------

・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価
 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他

No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度(評価値)	事業の方向性
93	障害のある人が権利の主体であることの理解促進	障害理解に関する啓発事業の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「障害者の人権」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)障害者差別を考えるセミナー「僕の宝物」 【日程】11月27日(日) (2)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】10月22日(土)「風の匂い」、2月18日(土)「imagination(イマジネーション)」 ②障害者の人権について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、人権啓発紙「人の輪」、チラシ・ポスター 【評価】 市民が障害者の人権について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 講演会等への参加が少ない。	4	②
100	障害を理由とする偏見や差別の解消に向けた取組	障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の周知と合理的配慮への理解促進	啓発事業などの実施(★)	人権・男女共同参画課	障害者差別の解消をめざし、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」や「大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」の理解の促進を図る。 【主な事業】①「障害者差別」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)障害者差別を考えるセミナー「僕の宝物」 【日程】11月27日(日) 【講師】嵯峨根望氏 (2)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】10月22日(土)「風の匂い」、2月18日(土)「imagination(イマジネーション)」 ②各人権課題について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、人権啓発紙「人の輪」、チラシ・ポスター 【評価】 市民が法律及び条令について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 講演会等への参加が少ない。	4	②
117	社会参加と自立に向けた支援の充実	雇用と就労の促進	障害者活躍推進計画の策定	人事課	障害のある職員の活躍の推進を図るため、障害者活躍推進計画に則り、必要な取組を進める。 【計画期間】令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)	障害者を対象とした職員採用試験の実施 令和3年10月24日実施 申込者12人 合格者1人 令和4年9月25日実施 申込者14人 合格者1人 【評価】 採用人数は募集人数の3人には満たなかったが、定期的に採用試験を実施することができている。	5	①
118	障害のある人に関わる施策の推進	岸和田市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画などの推進	岸和田市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の推進	廃棄物対策課	①粗大ごみの運び出しが困難な障害者の方を対象に、職員が粗大ごみを屋内から運び出して収集する「ふれあい収集」を行う。 ②紙おむつ給付または助成を受ける障害者(児)の方に、普通ごみ指定袋の給付(減免措置)を行う。	①30件 ②136件 【評価】 申請件数も増加している。 【課題】 継続し実施する	4	①
120		障害のある人への様々な支援の推進	障害のある人への様々な支援(★)	障害者支援課	岸和田市障害者計画などにに基づき、障害者や家族のニーズを的確に把握し、支援及びサービスの充実に努める。	該当の個別計画に基づき評価	4	①

主要課題5 被差別部落(同和地区)出身者の人権

個別事業数 (12)
 評価基準値 (60) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		A		評価根拠		54.5 ÷ 60 × 100 = 90.8 %		達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性	
121	部落差別の 解消に向け た取組	部落差別の解消 の推進に関する 法律の周知と必 要な施策の推進	啓発事業などの 実施	人権・男女共 同参画課	部落差別の解消をめざし、「部落差別の解消の推進に関する法律」 の理解の促進を図る。 【主な事業】①「同和問題」をテーマとした研修会や講演会、映画上 映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】2月18日(土)「imagination(イマジネーション)」 ②法律や「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」について、以下の広報 媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、チラシ・ポスター 【評価】 市民が同和問題について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 映画会等への若年層の参加が少ない。	4	②	
123			インターネット上 の差別的な書込 への対応	人権・男女共 同参画課	インターネット上の差別的な書込への対応策について、大阪府、府 内自治体及び関係機関が開催する会議等に参加し、他の自治体 における実態把握や先進事例等の情報の収集を行う。モニタリング 事業の実施に向けた環境整備に努める。	(1)大阪府下市町村の会議においてインターネット上の人権侵害をテーマに研修会を実施した。先進 自治体の取組報告やモニタリング事業について意見交換を行った。 (2)オンライン環境の整備に努めた。 【評価】 先進自治体の対応状況や課題等有意義な情報を得ることができた。 【課題】 対象サイト、実施頻度などの検討	4	②	
125			本人通知制度の 登録促進	市民課	本人通知制度は、住民票等の不正請求の早期発見や抑止力にな るといふ効果が期待されるため、機会あるごとに登録者拡大に努 める。	(1)新規登録者数 令和3年度新規登録者105名 令和4年度新規登録者 見込50名 (2)周知方法 広報きしわだ令和4年10月号、人権情報誌「人の輪」令和4年12月、マイナ ンバーカード出張申請会場にチラシ設置 【評価】 令和4年度末 登録者数見込335名 令和3年10月に登録期限を撤廃し登録者は拡大している 【課題】 ・本人通知制度の法制化を実現させる ・さらなる登録者の拡大を目指す	4	①	

主要課題6 地域で暮らす外国籍の人の人権

個別事業数 (13)
 評価基準値 (65) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		B	評価根拠		54.2 ÷ 65 × 100 = 83.3 %		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度(評価値)	事業の方向性
134	多文化共生理解の教育と啓発の継続	多文化共生に向けた取組の推進	国際交流(多文化共生理解)のための事業の実施	文化国際課	(1)多文化共生事業を推進する岸和田市国際親善協会の活動支援 ①イングリッシュオープンカフェ ②だんじりインフォメーションセンター ③日本語サロン (2)姉妹都市との国際交流事業の実施 ①SSF市青少年受入れ事業 ②SFマラソン派遣事業 ③市制施行100周年に伴う姉妹都市受入れ事業 ④KIX国際マラソン受入れ事業 (3)国際交流(多文化共生理解)に関する関係各課への情報の提供	(1)多文化共生事業を推進する岸和田市国際親善協会では、日本語サロンや、日本語ボランティア養成講座、イングリッシュオープンカフェなどをコロナ等感染対策をとりながら実施。文化国際課では、広報活動などの支援を行っている。 (2)姉妹都市との国際交流事業については、コロナにより青少年の受入れなど実施できなかった事業もあるが、市制施行100周年に伴う姉妹都市(SSF市)の受入れ事業は実施できた。 (3)国際交流に関する関係各課への情報提供については、引き続き、関係課への情報提供を行っている。 【評価】 コロナにより、事業が中止または縮小となったものも多いが、関係団体や関係課と連携をとりながら進めている。 【課題】 コロナにより国際交流事業の中止が続いているため、事業の再開に向けて取り組んでいく。	3	①
137		本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律の周知と必要な施策の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	ヘイトスピーチの解消をめざし、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」や「大阪府人権又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例」の理解の促進を図る。 【主な事業】①「多文化共生」をテーマとした研修会・講演会を実施 ②様々な広報媒体を用いた人権教育・啓発に関する啓発	①映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】6月11日(土)「ホームカブ 朴英美(ハクエミ)のまち」、9月10日(土)「わっかカフェ ようこそ」 ②法律や条令について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報きしわだ、チラシ・ポスター 【評価】 市民が法律や条令について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 上映会への参加が少ない。	4	②

主要課題7 HIVや新型コロナウイルス感染症など様々なウイルスの感染者の人権

個別事業数 (5)
 評価基準値 (25) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		A	評価根拠		24 ÷ 25 × 100 = 96 %		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度(評価値)	事業の方向性
146	感染症と人権問題について正しい知識と理解を深める教育、啓発の継続	誤解や偏見の解消に向けた取組の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「感染症と人権」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)岸和田市人権協会幹事会で研修を実施【日程・作品】10月13日(木)「私たち一人ひとりができること」【対象】市内活動団体 (2)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】6月11日(土)「ハンセン病 今を生きる」 ②感染症と人権について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、リフレット 【評価】 市民が感染症と人権について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 上映会への参加が少ない。	4	②

主要課題8 ハンセン病患者・元患者(回復者)の人権

個別事業数 (4)
 評価基準値 (20) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A	評価根拠	$18 \div 20 \times 100 = 90 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
151	ハンセン病問題への正しい知識と理解を深める教育、啓発の継続	誤解や偏見の解消に向けた取組の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「ハンセン病問題」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)「小栗街道ってどんなみち？小栗って誰のこと？」 【日程】10月30日(日)【講師】藤間勘史卯氏(日本舞踊家・人権擁護委員) ②映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】6月11日(土)「ハンセン病 今を生きる」 ②ハンセン病問題について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報さしわだ、チラシ・ポスター 【評価】市民がハンセン病問題について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】上映会への参加が少ない。	4	②

主要課題9 刑を終えて出所した人の人権

個別事業数 (6)
 評価基準値 (30) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	B	評価根拠	$26 \div 30 \times 100 = 86.6 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
155	地域からの排除を防止するための社会全体の理解促進	偏見や差別の解消に向けた取組の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「刑を終えて出所した人の人権」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発(人権・男女共同参画課)	①(1)映画上映会『プリズンサークル』 【日程】4月17日(日)【共催】“社会を明るくする運動”岸和田地区推進委員会、岸和田市教育委員会 (2)人権問題専門講座「非行少年から更生支援者へ」 【日程】2月2日(木)【テーマ】刑を終えて出所した人の人権【講師】野田詠氏(牧師) ②刑を終えて出所した人の人権について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。【広報媒体】市ホームページ、チラシ・ポスター 【評価】市民が刑を終えて出所した人の人権について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】若年層の参加が少ない。	4	②

主要課題10 犯罪被害者の人権

個別事業数 (3)
 評価基準値 (15) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	B	評価根拠	$12 \div 15 \times 100 = 80.0 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
163	二次的被害防止への理解促進	犯罪被害者を社会で支える意識づくりをめざした取組の推進	国や大阪府、犯罪被害者などの援助を行う民間団体などとの連携による施策の推進	人権・男女共同参画課	大阪法務局や人権擁護委員、岸和田市人権協会、大阪府との連携を密にし、情報の共有や啓発事業の共同開催等を進め、施策の効果的な推進を図る。国や大阪府の動向を注視し、必要な取組を進める。	(1)人権擁護委員と連携し、特設人権相談を実施した。[実施日]6月2日(人権擁護委員の日関連)、12月3日、6-9日(人権週間関連)【会場】市内公共施設【犯罪被害者に関する相談件数】0件 (2)大阪府警が作成したチラシ・ポスター・啓発物品を市内公共施設に配架した。 (3)大阪府との共催により講演会「非行少年から更生支援者へ」を実施した。[日程]2月2日(木) 【評価】 (1)市の人権相談窓口と併せて、犯罪被害者をはじめ、さまざまな人権問題についての相談支援体制を充実させることができた。 (2)(3)市民が犯罪被害者の人権問題について認識を深めるきっかけとなった。	5	①

主要課題11 インターネットを悪用した人権侵害

個別事業数 (5)
 評価基準値 (25) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A	評価根拠	$24 \div 25 \times 100 = 96 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
164	インターネットを利用する際のルールやマナーの理解促進	メディア・リテラシーに関する啓発の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「インターネット上の人権侵害」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)人権を考える市民の集い「ヤシキをカサシヨウ〜木村花さんが望んだ優しい世界を想いながら〜」 【日程】12月3日(土)【講師】木村響子氏(特定非営利活動法人RememberHANA) (2)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】9月10日(土)「わっかカフェようこそ」 ②インターネット上の人権侵害について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報さしわだ、人権啓発紙「人の輪」、チラシ・ポスター 【評価】 市民がインターネット上の人権侵害について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 講演会等への参加が少ない。	4	②

主要課題12 北朝鮮当局による人権侵害問題

個別事業数 (3)
 評価基準値 (15) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A		評価根拠	$13.5 \div 15 \times 100 = 90 \%$		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
169	拉致問題について理解を促すための啓発	理解促進に向けた取組の推進	啓発事業などの実施	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「拉致問題」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発(人権・男女共同参画課)	①北朝鮮人権侵害問題啓発週間の期間内に、アニメ「めぐみ」の上映会を実施した。 【日程】12月11日(日)計2回上映 ②北朝鮮人権侵害問題について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、広報さしわだ、人権啓発紙「人の輪」、チラシ・ポスター 【評価】市民が拉致問題について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】上映会への参加が少ない。	4	②

主要課題13 ホームレスの人の人権

個別事業数 (3)
 評価基準値 (15) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A		評価根拠	$14 \div 15 \times 100 = 93.3 \%$		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
173	専門機関との連携による、定住や定職が困難な状況にある人への自立支援	自立を支援する事業の推進	自立生活に向けた支援の実施	生活福祉課	生活保護申請につなげる等、支援対象者が安定した生活を営めるよう支援することを目的として、宿泊場所や食事の提供を行う。 [一時生活支援事業]	事業利用者 16件 【評価】当事業利用中に適切な制度につないでいる。 【課題】市役所近隣の宿泊場所の確保	5	①

主要課題14 性的マイノリティ(少数者)の人権

個別事業数 (11)

評価基準値 (55) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		A		評価根拠		50.5 ÷ 55 × 100 = 91.8 %		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価		達成度 (評価値)	事業の 方向性
175	SOGIを正しく理解し、多様性を尊重する教育、啓発の実施	SOGIを理由とする差別や偏見の解消に向けた取組の推進	啓発事業などの実施(★)	人権・男女共同参画課	1人ひとりが人権の意義についての理解を深め、すべての人の人権を尊重する意識や行動を身につけるため、人権に関する学習機会の充実を図る。 【主な事業】①「性的マイノリティ(少数者)の人権」をテーマとした研修会や講演会、映画上映会の実施 ②様々な広報媒体を用いた啓発	①(1)講座「弁護士夫妻のカラフルDAYS!」 【日程】10月16日(日)【講師】南和行氏(弁護士) (2)講座「それぞれの性について考えよう～“ふつう”ってなに?～」 【日程】2月24日(金)【講師】いのもと氏(特定非営利活動法人QWRC)[共催]大阪府 (3)映画上映会「はあとふるシアター」 【日程・作品】10月22日(土)「あした咲く」 ②性的マイノリティ(少数者)の人権について、以下の広報媒体を用いて啓発を実施した。 【広報媒体】市ホームページ、チラシ・ポスター 【評価】 市民が性的マイノリティ(少数者)の人権について認識を深めるきっかけとなった。 【課題】 若年層の参加が少ない。		4	②
181	社会生活で当事者が抱える困難の解消	困難の解消に向けた取組の検討・推進	行政文書及び庁内システム上の性別欄の検討	企画課	都市政策研究事業で実施している市民意識調査において、性別欄に無回答欄を設ける。 【設定予定】 「男性・女性・無回答」の3択	市民意識調査において、性別欄に無回答欄を設けた。(設定項目:「男性・女性・無回答」の3択) 【無回答】回答者数は47件(全体:1,451件)で全体の3.2%であった。 【評価】 市民の性別回答意向を把握することができた。		5	①
				郷土文化課	実習会の際のアンケート用紙中の性別欄(男、女、その他)を再考する。	実習会開催65回。もともと「男、女、その他」の性別欄も設けているが、引き続き性別欄が必要かどうかの検討をしていく。	4	①	

主要課題15 労働者をめぐる人権

個別事業数 (8)

評価基準値 (40) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価		B		評価根拠		28.6 ÷ 40 × 100 = 71.5 %		・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他	
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価		達成度 (評価値)	事業の 方向性
192	労働に関する支援	労働に関する相談と支援	就労に向けた支援の実施	産業政策課	ハローワーク岸和田等と連携しつつ、就職面接会を実施	R4.7.15 就職フェア 参加者38名 R5.1.20 岸和田貝塚合同就職面接会を開催予定 【評価】 希望者に就職に繋がる機会を提供することができた。 【課題】 参加者が少なめであった。		5	①
193			労働に関する相談窓口の充実	産業政策課	市の広報やホームページに掲載し、相談窓口の充実を図る。	相談件数 17件 【評価】 相談者の抱える不安の解消や問題解決につなげることができた。 【課題】 多いとは言えないが、引き続き実施していく。		4	①

主要課題16 被差別の当事者の家族の人権

個別事業数 (9)

評価基準値 (45) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A	評価根拠	$41 \div 45 \times 100 = 91.1 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
195	少数派の家族であることを理由とした不利益や人権侵害のない社会をめざした啓発	家族の人権問題を考える機会の提供	「認知症の人を支える家族のつどい」の実施	福祉政策課	「認知症の人を支える家族のつどい」の実施。	「認知症の人を支える家族のつどい」を令和4年12月14日に開催。 【評価】ご家族の方や当事者の方、介護職の方などが、日ごろの思いや悩みなどを気軽に話せる機会となった。	5	①

主要課題17 様々な人権問題

個別事業数 (3)

評価基準値 (15) ※個別事業数 × 5点満点

令和4年度評価	A	評価根拠	$14 \div 15 \times 100 = 93.3 \%$			・達成度 … 担当課ごとに5段階で評価 ・事業の方向性 … ①継続して実施 ②改善を検討 ③縮小もしくは廃止 ④その他		
No	主項目	推進施策	個別事業	担当課	取組内容(事業概要)	取組実績と担当課の評価	達成度 (評価値)	事業の 方向性
205	様々な人権問題に対する正しい理解の普及・啓発の推進	普及・啓発に向けた取組の推進	大阪府や他市町村、関係機関との連携による様々な人権課題の実態把握、情報収集	人権・男女共同参画課	大阪府、府内自治体及び関係機関と連携し、様々な人権課題に関する実態把握を行う。 【主な会議】大阪人権行政推進協議会、市町村人権相談担当課長連絡会議、おおさか人権協会連絡会他、一般財団法人大阪府人権協会が主催する交流事業など	(1)大阪府下市町村の会議においてインターネット上の人権侵害をテーマに研修会を実施した。先進自治体の取組報告やモタリング事業について意見交換を行った。【日程】9月28日 (2)大阪府主催の府内自治体を対象とした会議に出席。先進自治体の情報収集に努めた。 【会議名・日程】「啓発実践・交流会」7月21日、「市町村犯罪被害者等支援担当課長会議」12月16日、「大阪人権行政推進協議会」8月3日 外 【評価】先進自治体の対応状況や課題等有意義な情報を得ることができた。	5	①